

# 美楽舎

会報 第248号 (平成24年6月発行)

東京都中央区京橋 3-9-2 プラザ京橋ビル K's Gallery 内

Tel 03-5159-0809 Fax 03-5579-9004 メール [kgallery@eagle.ocn.ne.jp](mailto:kgallery@eagle.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://bigakusya.com/>

## 第270回(5月)例会報告

### 北斎ゆかりの寺・飯縄寺・行元寺へドライブ旅行

2012年5月27日(日)

参加者： 10名

< 報告： 榎木英二 >

『飯縄寺を中心に「波の伊八」の彫刻を訪ねて』

昨年の4月、美楽舎の例会にお招きし、『波の伊八』の彫刻に関する講演を、飯縄寺の住職・村田浩田氏にいた

だいた。ただ、参考資料及びネットで検索した画像で見ただけでは、『波の伊八』の彫刻の真価はわからない。その時以来、私は『波の伊八』の実物の彫刻をみたいと思っていたが、この度の5月例会に参加し、千葉県いすみ市の飯縄寺と行元寺にある『波の伊八』の彫刻を鑑賞することができた。

今回の例会企画は、榎崎氏と片岡氏だが、片岡氏が飯縄寺の住職・村田氏の高校の先輩という間柄から、飯縄寺では特別な計らいで貴重な経験ができた。昨年の村田氏の講演については、以下のブログ(グーグル・ヤフー検索)を参考にさせていただきたい。今回の例会報告では、これ以上紙面を長くすることを避け割愛した、「飯縄寺縁起」および「波の伊八」の略歴について、参考になると思う。

[マッキーの美術鑑賞：『波の伊八』の彫刻がある飯縄寺住職 村田浩田氏講演](#)

5月27日(日)、東京駅前に午前8時に集合し、会員10名が車2台に分乗して上総いすみ市に向けて出発。まず初めの目的地は、いすみ市荻原にある東頭山・行元寺(とうずさん・ぎょうがんじ)だった。到着後、駐車場からしばらく切通しの参道を歩くと、木々の新緑に囲まれて、その朱色がいつそう艶やかに感じる山門が建っていた。東頭山・行元寺は、849年慈覚大師により開山され、徳川家の庇護により興隆したという。天台宗では、東国初の寺ということで、行元寺は山号を東頭山と称している。この寺の見所は、波の伊八作の欄間・本堂欄間

